

製品・サービス動向-国内

■エイネット：ログイン不要、アカウント不要の3ステップで会議ができる Web 会議システム「Lite FreshVoice」を発表

(PRTimes: 5月29日)

エイネット株式会社(<https://www.anets.co.jp/>) (東京都千代田区) は、相手に会議名を伝えるだけで、すぐに利用ができるマルチデバイス対応のテレビ電話/Web 会議「Lite FreshVoice」(ライトフレッシュボイス) を6月1日より販売開始する。



Lite FreshVoice イメージ (エイネット)

Lite FreshVoice は、ダウンロードやインストールは不要で、ユーザは、任意の会議室名を付けた URL を設定し、相手にそれを伝えるだけの、ログイン不要、アカウント不要、わずか3ステップで Web 会議が開始できるのが大きな特長。WindowsPC、Macintosh、Android(Chrome ブラウザ)、iPhone/iPad(Safari ブラウザ)に対応しており、WindowsPC と Macintosh においては録画・録音機能も標準で利用できるようになっている。

また、WebRTC 技術による PtoP 方式と、専用のサーバーを利用する SFU 方式を併用することで、経済性と高い安定性を実現している。

サポートの面においては、国内では最も長い歴史を

持つ Web 会議システムのひとつである FreshVoice で培った充実したサポート体制により、万一のトラブルの際にも万全なサポートを受けることができる。

エイネットによると、同社が提供しているソフトウェア MCU による安定した多拠点接続に強みを持つ FreshVoice と、わずか3ステップでスピーディーに Web 会議が開催できる Lite FreshVoice 発売キャンペーンの利用は、テレワークをはじめとする今後の遠隔コミュニケーションによるビジネスのための強力な武器となるという。インサイドセールスや少人数のセミナー、採用面接などさまざまなビジネスシーンでの利用を想定しているという。

月額利用料金は、発行 ID 数(2 ID~)によって金額が設定されており、2 ID で 18,000 円から始まり、ひとつずつ ID 数が増えるごとに金額が段階的に上がり、10 ID では 80,000 円となっている。

なお、Lite FreshVoice 発売キャンペーンとして、FreshVoice と同時購入、またはすでに FreshVoice を導入しているユーザは FreshVoice の利用料金に 10% をプラスするだけで利用可能となっている。

ビジネス動向-国内

■ブリッジインターナショナル、RevComm、ブイキューブ：営業の働き方改革を支援する Sales Tech 領域でサービス連携

(5月29日)

ブリッジインターナショナル株式会社(<http://bridge-g.com/>) (東京都世田谷区) と株式会社 RevComm (<https://www.revcomm.co.jp/>) (東京都渋谷区)、株式会社ブイキューブ

(<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) の三社は、営業の働き方改革を支援する Sales Tech 領域でサービス連携をすると発表。



三社の狙いは昨今注目が高まっているインサイドセールス。実際に経験をしたことがある人はまだ少なく、自社にインサイドセールスのノウハウを有している企業が限られているという。

この課題に対して、インサイドセールスの業務の設計から必要なツールの提供・運用の支援まで手掛けるブリッジと、電話営業・顧客対応を可視化する音声解析 AI 搭載型のクラウド IP 電話を提供する RevComm (レブコム)、オンライン商談専用のサービス「V-CUBE セールスプラス」を提供するブイキューブの三社がサービスを連携させることで、オンライン商談の可視化や効率化を通じた営業分野での生産性向上の実現を目指す。

具体的には、インサイドセールスの日々の運用を伴走的に支援するとともに、インサイドセールスの内容を AI によってテキスト化し、会話スピードや声の抑揚などを解析・可視化し、最適な内容へ導く。これによって商談の成約率の向上や教育コストの低下を実現する。

■ブイキューブ：百五銀行が導入する保険の「遠隔相談システム」にテレビ会議システム「V-CUBE ミーティング」を提供

(6月3日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株式会社百五銀行 (三重県津市) が 2019 年 6 月から導入する保険の「遠隔相談システム」のインフラとして、テレビ会議システム「V-CUBE ミーティング」を導入したと発表した。

百五銀行の支店と四日市、津、愛知サテライトを拠点としている「ほけんの相談窓口」を、モバイル端末に搭載したテレビ会議システム V-CUBE ミーティングでつなぎ、画面を通じて専門家による保険コンサルティング相談を提供するもの。また、V-CUBE ミーティングの機能により、モバイル端末の画面上で「証券分析シート」などの各種資料を表示することが可能となっている。6月3日、システムを導入した。

保険の相談窓口では、各種保険に関する相談・受付をはじめ、顧客の人生設計における資金シミュレーションを案内する相談窓口。相談者のライフプランに基づいた保険相談・販売をしている。証券分析シートは、株式会社アイリックコーポレーション (<https://www.irrc.co.jp/>) (東京都文京区) が提供する保険の現状把握・検索提案システム「AS システム」を使用する。保険証券の文字情報を視覚的に理解しやすくビジュアル化したものになる。家族構成や家計情報に関する簡単な情報を入力することにより、将来にわたっての必要保障額やキャッシュフロー表も作成できるようになっている。

ブイキューブによると、商習慣や文化が変化する中で、これまで「対面原則」とされてきた業務の法改正が始まり、Web 会議の活用が進んできているという。中でも不動産分野ではいち早く法改正が行われ、IT 重要説明事項の利用は拡大している。金融・保険などの分野において、この度の遠隔相談での導入以外にもさまざまな業務での活用が広がることが期待されている。

同社はその実現に向けて支援していくとしている。

導入・利用動向-国内

■ヤマハ：スピーカーフォン「YVC-200」がビックエコーの展開する「オフィスボックス」において無料貸し出しグッズとして採用

(6月10日)

ヤマハ株式会社 (<https://jp.yamaha.com/>) (東京都港区) は、株式会社第一興商 (<https://www.dkkaraoke.co.jp/>) (東京都品川区) が運営するカラオケルーム「ビックエコー」のワークスペース提供サービス「オフィスボックス」において、テレワークや遠隔会議の利用に最適な無料貸し出しグッズとして採用され、6月12日から貸し出されることになったと発表。

オフィスボックス (<https://big-echo.jp/officebox/>) は、ビックエコーのカラオケルームをワークスペースとして利用できるサービスで、現在、全国約50店舗で展開されている。テレワークやグループでの打ち合わせだけでなく、パソコンなどを持ち込めば遠隔会議も実施可能となっている。

ヤマハのユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン「YVC-200」は小型軽量で接続や設定が容易な点などが高く評価され、この度、オフィスボックスで遠隔会議を利用する顧客への無料貸し出しグッズとして採用されることになった。

企業の働き方改革・生産性向上の取組みが進展し、テレワークのニーズも急速に高まっており、ヤマハは今後も、高品質な音声の提供によって快適な会話をサポートしていくとしている。

ヤマハは、2006年にWeb会議システム市場へ参入し、「Yamaha Voice Communication(YVC)シリーズ」を中心に充実したサポート、品質・音質などで高い評価を受け、国内市場においてはシェア No.1 (富士キメ

ラ総研 2018 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧) を獲得している。

■ブイキューブ：幕張メッセに「テレキューブ」を設置

(6月14日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株式会社幕張メッセ (<https://www.m-messe.co.jp/>) (千葉県千葉市) が運営する日本最大級のコンベンション施設「幕張メッセ」の国際会議場に、6月17日より、テレワークのためのコミュニケーションブース「テレワーク」を5台設置することを発表した。設置期間は6月から来年の5月まで。



幕張メッセに設置される「テレキューブ」の様子 (左:国際会議場1階、左下:国際会議場2階) (ブイキューブ)



幕張メッセでは、年間900件前後のイベントが開催されているが、出展者・来場者ともに、イベント期間中も顧客や関係者との電話やメールでの連絡、資料作成などのイベント外の仕事にも対応していることが多くある。

しかし、多くの人が往来する会場内は、電話やメールなどの作業に集中して取り組む個人が作業できるスペースが限られており、加えて会場外に出かけることも容易ではないことから、通路の隅などに場所を求めて困っている人が多くいるという課題があった。

テレキューブは防音性が高く、セキュリティが保たれた静かな環境を実現できることから、この課題を解消し、周囲の人に聞かれることなく電話や Web 会議などしたり、隙間時間に集中して作業したりできるスペースとしての活用が予定されている。

ブイキューブは幕張メッセと共同で、誰もが利用できる、静かでセキュリティの高い空間の提供を通じて、来場される働く人々の生産性向上と多様なワークスタイルの実現を目指すとしている。

■アドバンスト・メディア：クラウド型議事録作成支援サービス「ProVoXT」が三井情報の「MEDACA ビデオ会議コミュニケーションサービス」に採用

(PR TIMES:5月28日)

株式会社アドバンスト・メディア (<https://www.advanced-media.co.jp/>) (東京都豊島区) は、同社の AI 音声認識を活用したクラウド型議事録作成支援サービス「ProVoXT (プロボクスト)」が三井情報株式会社 (<https://www.mki.co.jp/>) (東京都港区) の「MEDACA (メダカ)」ビデオ会議コミュニケーションサービスに採用されたと発表。

ProVoXT は、AI 音声認識により議事録作成を半自動化し、素早く効率的に議事録作成を行うクラウド型の文字お越しサービス。アカウント数に制限がなく、音声ファイルや動画ファイルの音声を文字化できるため、少数利用から複数部署での利用までさまざまな規模での運用が可能となっている。

MEDACA シリーズは、ICT による働き方改革を推進する企業の支援およびビジネスパーソンが働き方改革を実感できるシステムの提供を目指しており、本サービスでは、ビデオ会議に加え、クラウドストレージによる会議資料の共有・共同編集を効率化し、音声データ書き起こしを用いた議事録作成支援により議事録作成にかかる時間を削減できるという。

同社では、今後も幅広い業種・業態にて、業務効率化に貢献する新しいソリューションや顧客サービスの提供に力を入れていくとしている。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (6月~7月)

「災害現場の今を共有出来ていますか? 災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上」、ブイキューブ 東京オフィス見学ツアー、<スマートグラス体験セミナー> ハンズフリーで現場作業を遠隔支援!、“従来比 1/3 のコストで導入できる” V-CUBE Box 体験セミナー、など
会場：(東京・大阪・沖縄・Web セミナー)
詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■働き方改革 (ワークスタイル変革) 実践事例セミナー ~コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる働き方改革~

日時：6月27日(木) 15:00~16:00 (受付：14:45 より)
会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所
主催：リコージャパン株式会社
詳細・申込：<https://www.rcc.ricoh-japan.co.jp/event/seminar/19K189.html>

■ビデオ会議クラウドサービスの現在と未来がわかる！

BlueJeans アップデートセミナーを開催

日時：7月5日（金）15：00～

東京会場：アークヒルズサウスタワー（東京都港区）

大阪会場：VTV ジャパン 大阪オフィス（大阪市中央区）

主催：VTV ジャパン株式会社

共催：BlueJeans、WestUC Japan

詳細・申込：

<https://www.vtv.co.jp/topics/pressroom/20190610.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNA.jp サイトの情報もご参照ください。

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

CNAレポート・ジャパン 2019年6月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp